盆栽園芸同好会

盆栽園芸同好会の皆さん

盆栽美、深い観察力と思考力を養うことを目指して

今年4月、文化協会の奥田会長を通じて、木曾義信さん（有野）が「手持ちの盆栽を同好の方に譲りたい」と考えていることを知りました。そこで同好の諸氏とともに訪れたところ、それぞれ譲り受けることになり、これをきっかけとして、月1回の研修会を開いていこうということになりました。毎月第3火曜日を定例会とし、げんきの杜に集まっています。

盆栽は、ご存知のとおり、大自然の景色、あるいは大木等を縮小して盆上（鉢の中）に表現するものであり、「BONSAI」を共通語として全世界で愛されています。生きた草木を小さな鉢の中で培養し、これを素材に作者の審美感に基づいて、美しい自然形をつくっていきますが、なかなか理想には遠く、ぼちぼち頑張っています。

研修の内容は、毎日の水やりに始まり、整枝や季節に応じた手入れ、植え替え等、実習を主体に行っています。素材から完成木に栽培するには、数年から数十年かかる根気のいる仕事です。永い年月をかけて育てていくのは子育てに似ています。盆栽も生き物ですから愛情に応えて育ってくれます。命を大切にする心や他者を思いやる心などを培うことができそうです。

ただいま会員10名（男性6名、女性4名）で、初歩から学習しています。とても生き甲斐を感じることのできる趣味だと思います。いつでも門戸は開いています。あなたも一緒に学習してみませんか。

●問い合わせ先
石川信哉さん
TEL72-2210

F.A.L―Fine Arts Laboratory―

■日本画

■線画（陶器）

黒田実花さん（垂水）

■鉛筆デッサン

自由気ままに、のんびりと活動しています。

「美術研究所」と銘打っていますが、何も難しいことをしているわけではありません。ただ、好きに絵やイラストを描いているだけです。

美術とは、視覚でとらえることを目的として表現された造形芸術（視覚芸術）の総称です。そして、視覚芸術とは何かというと、絵画・写真・彫刻・陶芸・映画・宝飾・漫画・アニメーション・落書き・ボディアート・コンピューターグラフィックス・服飾・舞踏等々、つまり眼で見える作品全部を指しているものなのです。

枠に囚われず、自分の好きなジャンルで、多種多様な作品を創ることがF.A.Lの基本的な活動で、目下文化祭に出展することを目標に頑張っています。

現在、自分の表現方法として、日本画・墨絵・鉛筆デッサン・イラスト（アナログ・デジタル）・漫画・動画・アニメーション等を中心に制作しています。

みんなが気軽に集まり、自由気ままに自分に合った作品を製作することができるクラブにしていきたいです。よろしくお願いします。

●問い合わせ先　TEL72-3724

こうげのふどき 上毛風土記 Vol 57

お不動さま

1 矢方毘沙門堂

古代日本の、自然を敬う山岳信仰から生まれた修験道は、陰陽道や仏教などと融合しながら、神を敬い、仏を尊ぶ神仏習合を信仰の基礎として、発展しました。そして、この修験道は、かつて松尾山にあった医王寺でも信仰されていました。そして、修験道では、難行苦行に立ち向かう修験者を守護するとされた不動明王は、その威厳に満ちた容貌から、全ての災魔を屈服させると言われ、特に信仰を集めました。

不動明王は現在でも全国的にも広く「お不動さま」と呼び親しまれている仏様で、無動尊や、不動使者という別称もあります。不動明王の像は国宝級のものから素朴な石像にいたるまで様々ですが、このことはその信者の多様性をあらわしています。そもそも、不動明王信仰が全国に広められたのは、修験者の活躍に負うところが多く、平安末期頃から修験者を中心として、あるいは、地方布教に熱心な僧侶によって東国にも西国にも広められ、一般庶民の信仰となったという背景があります。この不動明王信仰は町内各地の石像や木像からも見て取れます。

現在、矢方毘沙門堂（写真1）がある場所には、かつて、松尾山医王寺の末寺の一つである源正寺という寺があり、また、修験者が山中を巡る修行である峯入りに際して、体を休める峯宿がありました。毘沙門堂には、破損が著しいですが、毘沙門天像・地蔵菩薩像・不動明王像が現存しています。また、尻高米山には不動神社（写真2）があります。この神社の祭神は不動明王で、かつて松尾山医王寺で不動明王信仰が盛んであったことを裏付けています。

西友枝の横川不動堂には不動明王の小像（写真3）が伝えられるとともに、修験者が峯入りの際に残した江戸時代末期の木札が30余り残されています。他にも東下にある安養寺跡や東上岩屋の滝には石に彫られた不動明王と思われる石像（写真4・5）があり、これらも不動明王信仰の隆盛を物語るといえます。

明治維新と共に修験道は廃止され、松尾山医王寺は廃寺となりましたが、町内に残る不動明王像は、松尾山で修業を行っていた修験者の足跡を今に残すものでしょう。

総合窓口課文化財保護係　佐藤　信

2

3

4

5

2 不動神社には、「不動明王」の額が掛けられている。
3 横川不動堂不動明王像
不動明王は、右手に煩悩や迷いを断ち切る剣を持ち、左手に悪を縛り上げ、煩悩から抜け出せない人々を救い上げる索（なわ）を持つ姿で表される。
4 安養寺跡にある石像
5 岩屋の滝にある石像

図書館だより

げんきの杜図書館 TEL 72-1633

毎日が幸せな社会になったら、退屈しませんか？実生活から見える真実、世界の国々の現実から、日本人の【幸福中毒症状】を鋭く抉り出す四十八編。

『安心したがる人々』
曽野綾子　小学館

善男さんは、どうして役者への道を断念してお婆さんたちの世話をしているんだろう？医者志望のアキラ君は上京して浪人生活を始めるべく、新宿区上落合の【八方園】を訪れた。

『家族芝居』
佐川光晴　文藝春秋

特別図書館整理に伴う休館のお知らせ　11月24日（水）～30日（火）まで休館します。

新着

おしんの遺言
橋田壽賀子　小学館

ほら吹き茂平
宇佐江真理　祥伝社

かんたん家事の知恵袋 時間、お金、手間を節約!
講談社

動物の死はかなしい?
あべ弘士　河出書房新社

ペンちゃんギンちゃん おおきいのをつりたいね!
宮西達也　ポプラ社

環境ポスター入選作品

西吉富小5年　粉（へぎ）　杏奈（あんな）

築上東中2年　山上（やまかみ）　竜司（りゅうじ）

環境標語入選作品

○紙しげん　ぼくのノートも　リサイクル
西吉富小4年　木村（きむら）　海貴（かいき）

○ぼくの子に　きれいな地球　残したい
友枝小6年　是石（これいし）　悠斗（ゆうと）

○ごみポイは　自分の良心　捨てること
築上東中3年　堀（ほり）　珠弥（たまみ）